



2026年4月開設 工学部ロボティクス学科教員に ペットロボット「aibo」の開発者で音声AI研究の第一人者・倉田 宜典氏が就任

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）は、2026年4月に工学部ロボティクス学科を開設します。このたび、新たにロボティクス学科の教員として、2026年4月1日付で、倉田 宜典氏【学位：修士（工学）、専門：音声AI、現職：東芝デジタルソリューション株式会社】が着任します。

倉田氏はソニー株式会社にて「aibo」、二足歩行ロボット「QRIO」の開発に携わってきました。また、2016年には、デジタルサイネージ向けニュース動画の制作を目的とした「バーチャルアナウンサー 沢村碧※1」を開発し、デジタルサイネージアワード技術賞を受賞しました。

2020年からは東芝デジタルソリューション株式会社で、音声合成ツール「Voice Track Maker※2」の企画・開発を推進し、産業領域における音声AI・対話UX※3の高度化にも取り組んできました。

また、生成AIによる著作権関連法違反の可能性が高い出力事例が急増し、権利者や実演家が懸念を示す状況となる中、音声AI開発企業間で権利を尊重する開発ルールを提案・運用することを目的として、2024年に「一般社団法人 日本音声AI学習データ認証サービス機構（AILAS）」を設立しました。代表理事として音声AIの公正利用と権利保護に資する認証スキームの整備、具体的な啓蒙活動を牽引しています。

本学のロボティクス学科は、機械工学に加えて電気電子工学、計測・制御工学、AI・情報工学などを統合的に学び、社会で活用できる知識と技術を体系的かつ実践的に修得できるカリキュラムを特徴としています。

本学科には、AI研究の第一人者である松原 仁をはじめ、人間とロボットの関係性を研究する、ヒューマンエージェントインタラクションの先駆的研究者など、様々な専門性を持つ教員陣が集う予定です。

※1. 音声合成とCGを連動させてニュース等を読み上げるバーチャルアナウンサー

※2. テキストの読み上げ機能と、自分の抑揚を真似て読み上げさせる韻律射影機能を搭載した音声合成作成ソフト

※3. ユーザーがチャットボットやAIアシスタントなどのデジタルシステムと、自然な会話を通じて対話する際に得られる体験

●倉田 宜典（くらた・よしのり）氏プロフィール

修士（工学）。1970年、神奈川県川崎市生まれ。

1996年：筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了
ソニー株式会社入社

2019年：株式会社ドワンゴ入社

2020年：東芝デジタルソリューション株式会社入社

2024年：一般社団法人日本音声AI学習データ認証サービス機構設立・代表理事（現在に至る）

2026年：京都橘大学工学部ロボティクス学科教授

●専門

音声対話AI、音声AI、AI著作権関連問題

●本学着任日

2026年4月1日

●所属／職位

京都橘大学工学部ロボティクス学科／教授

●研究概要

ソニー(株)でaibo・二足歩行ロボットQRIOの開発に従事。AILAS+1バーチャルアナウンサー「沢村碧」などでデジタルサイネージアワード2016技術賞を受賞。音声合成ツール「Voice Track Maker」の発案・開発などを推進。

また、20年以上AIを開発してきた経験からAI著作権問題の解決に強い関心を持つ。2024年に生成AI時代に著作物の権利を大切に扱うための仕組みを作る(一社)日本音声AI学習データ認証サービス機構を設立し代表理事を務めている。



●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp